

理解促進テスト -4

《時間・コスト編》

この理解促進テストは、時間とコストについて、各人がどの程度理解できているか、どの程度の意識を持っているかをチェックするための小テストです。

● インストラクション手順例（セッションの事前または事後で）

- 1) (シートを配布：人数分)
- 2) 「それではこれから簡単なテストを行います。時間の使い方やコストについて、どの程度理解できているか確認しましょう。」
- 3) 「設問は全部で 10 問あります。これから 10 分間与えますので、各自テストに取り組んでください。〇〇分になったら終了です。

では、始めてください。」
- 4) 「時間ですので終了してください。これから答え合わせをしましょう。」

— その後、講師が正解を述べ、解説を加える —

■ 理解促進テスト<時間・コスト編>

1) 仕事は、遅くまで残業してがんばれば良いというものではない。同じ仕事量なら勤務時間内に終える方が望ましい。

2) 私用のために会社のコピー機を無断で使った。とはいえ、勤務時間外に、自前で買った用紙を使ってコピーを取ったので、会社に迷惑はかけていない。

3) 時間を約束する場合には、午前と午後の区別を明確にするか、24時間表現を用いて間違いのないよう配慮する。

4) 会議などに出席する場合は、時間通りに開始できるように少し早めに行って準備を整えるようにするとよい。

5) 訪問するときは、前もって電車の路線や道順を確認してから出かけるようにした方がよい。

6) 午前9時から午後5時までが就業時間となっているので、5時までに机の整理や身支度を済ませ、5時ちょうどに会社を出た。

7) 取引先の会社で打ち合わせがあるとき、約束時間に遅れるのはマナー違反だが、約束時間の前であれば、どんなに早く到着しても構わない。

8) 外出先での用事が長引き、夜遅くなってしまった。もう会社には誰も残っていないだろうと思える時間だったので、会社に電話をせずにそのまま直帰した。

9) 会社の近くの店で買うと5,000円する備品が、電車で片道30分かかる街へ行けば、4,000円で買えることがわかった。電車賃は片道300円。この場合、絶対に街に買いに行くべきだ。

10) 電車が事故で遅れて、このままでは遅刻してしまうと思ったが、事故は自分のせいではないので、会社に着いてから報告することにした。

■ 理解促進テスト<時間・コスト編> ー解答と解説ー

- 1) ○ ダラダラと時間をかけるより、一定の時間内で完了できるよう、計画を立てて取り組むことが大切です。
- 2) × コピー機にかかるのは、用紙代ではありません。枚数に応じてカウンター料金がかかりますし、電気代もかかります。また、使用した分だけ消耗します。一人ひとりにとってはほんの些細なルール違反でも、みんなが同じことをしたら相当なコストになります。ルールを守り、コスト意識を持ちましょう。
- 3) ○ 特に口頭での約束は、言い間違いや聞き間違いのもとです。「じゃあ1時に」といったつもりが、「11時に」と受け取られた、などはよくある例です。確実に伝えるように配慮すること、そして、相手の言ったことにも「午後の1時ですね」などと必ず復唱し、確認するようにしましょう。
- 4) ○ 会議には、複数の人の貴重な時間とコストがかかっています。遅刻してみんなを待たせるのはもってのほか。時間を守るのは当然として、さらにその貴重な時間を効果的に使うために、少し早めに行って資料を確認するなどの準備をするようにしましょう。
- 5) ○ あいまいな記憶のまま外出すると、往々にして時間のロスが発生します。「あの辺なら行けばだいたいわかるだろう」などとタカをくくらずに、きちんと確認してから出かけるようにしましょう。急がば回れ。
- 6) × 就業時間とは仕事に従事している時間のことですから、5時までは仕事に集中します。帰りの身支度は5時以降にすること。
- 7) × あまり早く到着しすぎるのもマナー違反。少し余裕をもって到着し、身支度を整えた上で、約束時間ちょうどに伺うのがベスト。
- 8) × 直帰するときは必ず会社に電話を入れること。また、用事が長引きそうだとわかった時点で、あらかじめ会社に連絡をいれるようにすべきです。
- 9) × 必ずしも得とは言えません。電車賃のほかに、時間と人件費がかかることを考えると、結局高くつくことになるでしょう。もっとも、その人がほかに何も仕事のない状態なら、買いに行った方がいいかもしれません。しかし、人件費に見合う程度の仕事は、自ら見出して行きたいものです。時間とコストを踏まえて、最も効率的・効果的な手段を選ぶようになりましょう。
- 10) × どういう理由であれ、遅刻しそうなときは、可能な限り事前に連絡を取るようになります。